

I 平成29年度みえスタディ・チェックの概要

1 目的

- ・児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ・学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、子どもたちの学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

2 実施日及び対象学年・対象教科、実施校数

	第1回	第2回
実施日	実施基準日：4月18日（火） ※上記実施日を含め、4月17日（月）から4月21日（金）までの期間に実施	実施基準日：1月31日（水） ※上記基準日を含め、1月15日（月）から2月16日（金）までの期間に実施
対象学年	小学校4年・5年 中学校1年・2年	小学校5年 中学校2年
対象教科	国語、算数・数学、理科	国語、算数・数学、理科
実施校数	小学校 356校 中学校 155校	小学校 313校 中学校 128校

3 各教科における分析総括

①小学校

国語

強み：文脈に即して漢字を正しく読むことや目的に応じて、段落相互の関係を考え読むことができています。

弱み：文の中における主語と述語を正しく捉えることに課題が見られます。（主語と述語が離れている文）また、必要な内容を適切に引用して、自分の考えを書くことに課題が見られます。

算数

強み：基本的な四則計算ができています。二つの観点から分類整理された表の意味を理解することができています。

弱み：正三角形を作図する方法を理解し、三角形の特徴を理解することに課題が見られます。示された考え方を解釈し、その考え方をを用いて問題を解決することに課題が見られます。

理科

強み：実験結果を基に、水の温まり方を考察して分析することや植物の受粉と結実についての概念を理解することができています。

弱み：平成 27 年度全国学力・学習状況調査でも課題として挙げられていた観察・実験の器具に関する「知識」については、引き続き課題が見られます。天気の変化と気温の変化を関係付けてグラフなどから 1 日の気温の変化を分析することに課題が見られます。

② 中学校

国語

強み：文脈に即して漢字を正しく読むことや登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することができています。

弱み：説明文の要旨を捉え、引用して自分の考えを書くことに課題が見られます。表現の工夫や登場人物の言動について自分の考えを書くことに課題が見られます。

数学

強み：正負の数の減法の計算をすることや四角すいの展開図について理解ができています。

弱み：度数分布表とヒストグラムから最頻値を求めることについては、課題が見られます。数量の関係を文字式に表すことも引き続き課題が見られます。

理科

強み：反射した光と音の速さの違いを理解することや、ろ過についての実験操作を検討して改善し、適切なる過の方法を説明することができています。

弱み：特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めることについては、1 回 2 回ともに課題が見られます。また、溶解度を基に、物質が溶け残る質量を求めることにも課題が見られます。